

令和5年度 第7回部長会（概要報告）

- ・ 日 時 令和5年10月4日（水）午前9時00分～
 - ・ 場 所 八尾市役所大会議室
 - ・ 出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長・理事等
-

令和5年度 第7回部長会概要記録

日時：令和5年10月4日

午前9時～

場所：6階 大会議室

【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。令和5年度第7回目部長会にお集まりいただきご苦労様です。

去る9月10日に「やお河内音頭まつり」が開催され、ファミリーロードを活用したグランプリの開催や大信寺での大盆踊り大会など、市内各所でにぎわいが見られました。終盤は雨に見舞われたものの、約1万人もの方々が祭を楽しまれました。当日は多くの職員の皆さんにも応援に従事していただきありがとうございました。

万博では、府内各地の文化芸能の発表も予定されています。ここで本市は、河内音頭を発表できるよう調整を進めていただいていることと思います。この万博も11月30日には開幕500日前を迎えます。本市は、自治体として唯一、大阪ヘルスケアパビリオンに出展します。このチャンスを存分に活かして、全国、世界の方々を会場から本市に誘客するなど、万博の効果を八尾の発展と魅力発信につなげるため、引き続き、各担当がしっかりと連携して、積極的な取り組みをお願いしておきます。

新型コロナウイルス感染症を巡っては、8月半ばに感染者数がピークを迎えた後、減少傾向にある一方、例年に比べて、全国的にインフルエンザの流行が早く始まっています。今後、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行も懸念され、医療体制の確保など、緊張感を持って対応していかなければなりません。9月から新型コロナワクチンの秋接種も始まっています。本市ではこれまで約8,000名の市民が接種を受けられています。引き続き、基本的な感染対策の徹底とリスクの高い高齢者への対応に取り組んでいただきますようお願いいたします。

今回の報告にもありますが、まもなく令和6年度の予算編成が始まります。人件費や扶助費など年々増加傾向にあり、財政状況が厳しさを増しております。市長就任以来、これまで徹底した事務事業の総点検をお願いしてきましたが、今一度、議会はもちろんのこと、市民の皆さんにも、抜本的な見直しのプロセスやその努力が伝わるよう、再確認していただくことを強くお願いしておきます。とりわけ、予算要求に際しては、前例踏襲型ではなく、これまでの事業効果の十分な検証とスクラップアンドビルドを徹底し、事業の必要性を明確にした上で予算提案していただくようお願いいたします。

まもなく、決算審査が始まります。前年度の予算執行や事業効果など多岐にわたる質疑が予想されます。部局長の皆さんには、しっかりと準備していただき、簡潔かつ的確な答弁をお願いしておきます。

季節の変わり目で、朝晩涼しくなってきました。部局長の皆さんにおかれましても、体調に十分留意され、引き続き、ご尽力いただきますようお願いし、開会のあいさつといたします。

案件

1 令和6年度当初予算編成方針および予算編成に向けた協力依頼について 財政部長

令和6年度当初予算編成にあたっての予算編成方針等の各種資料については、10月6日頃に共通ライブラリへの掲載を予定しておりますので、部内各所属へ遺漏のないよう周知のほど、よろしくをお願いいたします。

【令和4年度の決算状況】

令和4年度一般会計決算では、財政調整基金を1億5000万円取り崩した結果、実質収支は5600万円の黒字となりましたが、単年度収支では4億9400万円の赤字となったところです。

また、経常収支比率は、昨年度から2ポイント悪化し98.6となり、歳入面では、市税収入がコロナ禍前の水準まで回復し400億円を上回ったものの、歳出面では、職員人件費、社会保障関係経費の増加が続いており、財政構造の硬直化が依然として続いています。

【新年度予算編成における影響要因等】

円安や国際情勢の影響などによる、引き続き物価高騰や最低賃金の上昇等による関連経費の増への対応をはじめ、システムの標準化やDX等に関する経費の増加が見込まれる中、1次要求ベースで、重点事業に関する予算要求だけで対前年度17億7千万円の増となっています。

実施計画での新規・拡大要求に合わせての縮小・廃止などの見直しはほとんどなく、歳出予算は膨らみ続けており、歳入予算を大きく上回り、一次要求の一般財源ベースで約74億円の収支マイナスという状況となっています。

【協力依頼事項】

各部局におかれましては、業務仕様の見直しをはじめ、事業及び業務量の縮減による人件費の抑制を行っていただき、事業費が拡大する場合は、既存事業費の削減をセットで要求いただくなど、財源の確保をしていただき、特に、重点事業以外の事業については、必ず部局の上限額設定の範囲内での編成作業を行っていただきますようお願いいたします。

なお、必要に応じて統一的な歳出予算総額の抑制策を実施しなければならない可能性もありますので、何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

予算編成方針をお示しする前に、誠に恐縮ですが、事業及び事業費の見直しに徹底して取り組んでいただき、予算要求をしていただきますようお願いいたします。

【健康福祉部長】 財政状況が厳しいことは伝わってきますが、コロナ前までは予算編成の説明会を開催し、各所属長に説明をされてきたと思うのですが、今後説明会等を開催する予定は全くないのですか。

【財政部長】 コロナ前には所属長や予算入力担当者向けの説明会を実施しておりました。その後も部内でも様々な検討をしてきましたが、令和6年度予算編成に向けての説明会については開催せず、詳細な資料を提供することで対応させていただきたいと考えております。ただ、来年度予算の厳しさにつきましては、さまざまところで情報発信していきたいと考えております。

【こども若者部長】 こども家庭庁が今年設置され、来年度予算の概算要求において事項要求が多発しているため、市町村への補助単価がわからないということが多発しており、ぎりぎりまで調整していただけたのか教えていただきたい。また、先ほどの説明会については、短時間の動画でも作られてどうかと思います。資料ではなかなか難しく、職員も声で聞いた方が伝わる場合がありますので、例えば15分ぐらいの動画などを配信していただけたら、忙しい間でも見ることはできますので、令和7年度に向けてご検討されてはどう

かと思えます。

【財政部長】まず1点目は、こども家庭庁だけでなく、さまざまな省庁で行われていると思います。こども部局につきましては、年度当初に公定価格が決定したということも過去にはございましたので、財政としてはしんどいところではあります。総枠としての予算スキームを、明後日の予算編成の庁議後に出させていただきます。

最終的な調整は当然出てくるものだと考えてございますが、それでも歳入を上回る歳出予算は組めませんので、そのあたりはご無理を言うかもしれませんが、その都度調整させてもらいたいと思っております。

二つ目の説明会の動画については、検討させていただきます。

【植島副市長】令和6年度の予算編成方針については、今週中にお示しする予定です。その方針に基づいて予算要求をしていただくこととなりますが、職員の皆さんに正確に本市の財政状況を認識していただくことは非常に重要であると思えます。そういう意味では、少し工夫をしていただければと思えますので、よろしくお願いいたします。

2 「FactorISM（ファクトリズム）2023」並びに日本の【食】まつりの開催について

魅力創造部長

10月に開催予定のイベントについてご報告いたします。

まず、工場を一般公開し、ものづくりを体感できる地域一体型オープンファクトリーイベントであり、TEAM EXPO 2025 共創チャレンジとして登録もされている「FactorISM」が10月26日から29日まで開催されます。

また、合わせて、大阪・関西万博に向けた地域パビリオンのプロジェクトとして、10月28日には、近畿日本鉄道株式会社と共催し、「こうば de マルシェ」を龍華西公園で開催します。会場には、飲食ブースのほか、ものづくりの体験ブースや、近鉄グッズの販売ブースが出店されます。さらに、まちのコインのスタンプラリー機能を使い、5つのコースを自転車等で周遊するスタンプラリーの実施を予定しています。

関連して、自治体唯一の出展となった大阪ヘルスケアパビリオンでは、「OPEN FACTORY CITY YAO」をスローガンに、出展企業の選定も終え、出展内容の検討を始めています。

次に、こちらでも2025年大阪・関西万博の機運醸成と、地産地消、八尾産の食材を活かした食のPRを図るため、「日本の【食】まつり」を久宝寺緑地公園で開催いたします。こちらでは、多数のキッチンカーでの料理の販売の他、様々なイベントの開催が予定されています。

【植島副市長】ものづくりのまちとして、様々な取り組みをしていただいておりますので、各部局におかれましても、市民のみなさまにも様々な機会を通じて情報発信をしていただければと思えます。

その他、政策企画部長から特別職・部長級を対象としたDXトップセミナーの開催について報告があった。

次に植島副市長から以下の発言があった。

来週から決算審査が始まります。各部局の皆さんが、昨年度市民のために取り組んだ内容をしっかりと答弁していただき、係長以下の職員の日頃の頑張りもしっかりと受け止めながら決算審査に臨んでいただくよう、よろしくお願いいたします。